植栽管理業務仕様書

1 業務内容

樹木せん定工、除草工、防除工及び運搬処分工
施工箇所は、別図のとおりとする。

2 業務実施に係る一般事項

- (1) 事前に現地を調査し、指定した緑地等を、年間を通して良好な状態に保つための作業内容・範囲等を決定し、発注者に実施計画表等を提出すること。
- (2) 緑地等を良好に保つため、設計内容にかかわらず変更する場合は、その都度、協議の上、決定すること。
- (3) 実施作業終了後、速やかに、出来形を提出し発注者の確認を受けること。
- (4) 暴風、豪雨、地震、落雷により、折損、倒木した樹木を撤去する場合は協議の上、決定すること。
- (5) 作業に当たっては、就業者及び通行人等の安全を十分図り施工すること。
- (6) 既設構造物等に損傷を与えないように、施工管理、安全管理を行うこと。

3 樹木せん定及び除草業務

(1) せん定工

- ア せん定工は、原則として年2回行うこととし、時期及び範囲については、植物の生育状況を考慮し、最大の効果が期待できる時期及び範囲を選ぶこと。
- イ せん定は、対象樹木の状態を把握し、それぞれの樹種、形状及び目的に応じて最も適切な方法により行うこと。なお、フェンス際の樹木については、保安区域の確保を図るため、フェンスから50cm程度の空間を確保するようにせん定を行うこと。
- ウ 寄植せん定は、管理棟周囲を行い樹木にとって最も適切な方法により行うこと。
- エ 植樹帯内において、保安上支障となる樹木について伐採を行う。伐採する樹木は、発注者と現地立会いの上、決定すること。

(2) 除草工

- ア 除草工は、原則として年2回行うこととし、時期及び範囲については、植物の生育状況を考慮し、最大の効果が期待できる時期及び範囲を選ぶこと。
- イ 植樹帯内及びコンテナターミナル内の雑草を機械及び適切な薬剤散布により除草すること。
- ウ 散布作業の範囲や時期及び方法等は協議の上、決定すること。
- エ 使用する薬剤については、施工前に発注者に品質証明書等を提出した後に使用すること。

オ 薬剤散布に使用する薬剤の取扱いについては、関係法令等に基づき適正に行うこと。

(3) 防除工

病気や害虫が発生したときは、樹種や条件により、最も有効な手段・時期に合わせて薬剤を散布すること。

ア 散布作業の範囲や時期及び方法等は協議の上、決定すること。

イ 使用する薬剤については、施工前に発注者に品質証明書等を提出した後に使用すること。

ウ 薬剤散布する際、降雨時やその直前、施工直後に降雨が予想される場合及び強風時を避けるものとし、薬剤は葉の裏や枝の陰等を含め、斑の無いように散布しなければならない。また、噴霧液が作業員にかからないようにすること。並びに、噴霧液を吸入しないよう注意し、風下に立ち、風を背に受ける形で風上に向かって歩くように散布すること。

エ 散布作業中は範囲を明確にし、作業看板等を設置し、作業関係者以外の立入りを禁止すること。

オ 薬剤散布に使用する薬剤の取扱いについては、関係法令等に基づき適正に行うこと。

カ 薬剤防除の実施については、病虫害の発生状況を考慮し、発注者と協議の上、決定すること。

(4) 運搬処分工

ア 本委託により発生した一般廃棄物は、作業の都度、特定箇所に集積し、速やかに川崎市内の処理センターに運搬し処分すること。

イ 処分量については当初設計に基づくものであり、設計内容の見直しにより変更する場合がある。

ウ 処分に関する伝票等は、発注者が指示した場合、直ちに提出できるように整理しておくこと。

4 安全対策関係

本委託区域は、国際船舶・港湾保安法適用施設であるため、安全対策には十分に配慮し、実施するものとする。とりわけ、施設外周フェンス際で作業を行う際は、関係する警備員等と十分な連絡・調整を行うこと。

5 その他

(1) 作業実施に際しては、発注者及び関係事業者等と十分調整の上、荷役作業を優先し作業を行うこと。

(2) 既設構造物に損傷を与えた場合は、受託者の負担により原形に復し発注者の確認を受けること。

(3) 現場状況により、施工内容及び施工数量が変更となる場合は、発注者と協議の上、

設計変更の対象とする。

- (4) 本委託設計図書に明示なき事項において疑義を生じた場合や、契約金額の変更を伴わない特記仕様書内容変更については、両者協議の上、決定するものとする。